

物部川フォーラムアンケート結果

令和2年1月17日開催

1.参加されたご本人について、ご記入ください。

年齢	①20代以下	②30代	③40代	④50代	⑤60代	⑥70代以上	未記入
	5	6	12	18	21	14	1
住所	①香美市	②香南市	③南国市	④高知市	⑤その他	未記入	
	26	9	11	16	8	7	
	⑤その他 いの町 3 四万十町 3 安芸市 1 未記載 1						
所属	①市職員	②県職員	③物部川流域関係団体	④その他	未記入		
	22	7	15	26	7		
	③物部川流域関係団体 物部川21世紀の森と水の会、物部川漁協、JA高知県、高知県漁協、香美森林組合 等 12 未記載 3						
	④その他 市議会、県議会、高知県漁協、民間企業、大学教員、流域住民 等 18 未記載 8						

2.基調講演の内容はいかがでしたか。またその理由を聞かせてください。

①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満	⑥未記入		
56	13	3	1	1	3		
理由①							
<ul style="list-style-type: none"> ・理解しやすい内容で、説明も丁寧であったこと。 ・perfectでした。ありがとうございました。 ・話がおもしろかった。藻の定着が気になった。 ・事業を拡大させるための取り組みについて詳しく知ることが出来た為。 ・子供たちを中心として関係団体を巻き込んだ海の環境改善、生態系の改善に取り組み。 ・どろめが物差し。→物部川の環境。 ・生物を守り、環境保全に関する取り組みは素晴らしく思う。アオリイカの例は、理解しやすく楽しく学べ ・どろめの餌のプランクトンとマイクロプラスチックの現状も聞きたかった。 ・山、川、海のつながりが分かった。 ・里海を守りたいとする情熱と児童教育を通じて、将来に繋げたいとする熱意がよく伝わりました。私も何らかの形で尽力したいと思います。 ・先進的な活動を実際の事業を元に紹介して頂き、分かりやすかったです。 ・物部川とのからみが少なかった感がありました。 ・環境団体に働いており、川をフィールドに仕事をする人が多いが、森と川と海のつながりについてより具体的に、身近に感じることができ、今後仕事にも活かしていきたいと感じた。 ・知らないことが多く、勉強になった。 ・多くの方が協力、尽力していることがよく分かった。神田さんの取り組みがすごいと感心した。 ・ビジュアルで分かりやすい。プロジェクトの具体性、発展性に優れている。 ・黒潮実感センターの取り組みも分かりやすく、森から海までのつながりもとても大事なもので、自分たちのやれる事が何なのかが分かった。 ・話も分かりやすく、又、移住されての発信であり力がありました。 ・自分自身が長年、森林環境学習の一手法として続けてきた、森、川、里、海のパワーポイントを使った学習が間違っていなかったと自信が持てた。 ・山から海までのつながりを見える形で分かりやすく話していただき、感激しました。 ・とても分かりやすく、森川里海のつながりが分かりました。 ・里海、理解しやすかった。私たちの為、勉強になった。 							

- ・具体的で実践的な話が良かった。
- ・分かりやすい説明と問題提起でした。そのうえで、どろめというキーワードでの解決へのヒントもあった。
- ・海からさかのぼる発想がおもしろかった。プランクトンの説明も説得力があった。
- ・映像がとても美しかった。

理由②

- ・考えさせられる内容でした。
- ・1つのプロジェクトにより、漁業とダイビングのわだかまりが改善したのは素晴らしいと思います。
- ・ためになりました。
- ・濁水についての話があればよかった。
- ・失敗談(一面)が欲しかった。
- ・今後の方向性について(特に人作り)子供達以外の人的育成等、もう少し具体的に聞きたかった。
- ・神田さんの話がとても面白かったです。
- ・森(山)～海のつながりがとてもわかりやすかったが、「どろめ」から考えるという具体的な話がなかった気がします。

理由③

- ・途中入場の為。
- ・対策などもう少し深く聞きたいと思いました。
- ・10時20分過ぎに参りましたので、殆ど聞けませんでした。すみません。

理由④

- ・物部川流域の産業(どろめ)について、物部川と水産業の内容が不足気味であり栢島周辺の関わりは少ない地域です。

理由⑤

理由⑥

- ・視点がユニークで興味深かった。
- ・前半参加できませんでした。申し訳ございません。

3.パネルディスカッションの内容はいかがでしたか。またその理由を聞かせてください。

①満足	②やや満足	③どちらでも	④やや不満	⑤不満	⑥未記入		
28	23	9	5	4	3		

理由①

- ・コーディネートにより、現状、取り組み、今後への提案等、課題克服への具体策につながる議論ができ良かったと思います。
- ・濁水から水利用へとテーマが変わったのがズレにも感じるころがあった。しかし、これだけの人が一堂で話す試みは貴重だと思います。
- ・パネリストの皆さんよかったです。濁りだけではなく、水利権や維持流量が出てきて、少しピントがズレた部分もある。
- ・大変わかりやすかったです。
- ・共有された認識をもってみんなで物部川をよくしていけるような気になりました。
- ・大変充実した内容でした。
- ・色々な意見、考えを知れ良かった。
- ・気になっていた事が聞けた。
- ・多分野の方々が、流域問題を議論する場が与えられていることが素晴らしい。全国に発信するためにも、NHK等のメディアに取り上げてもらう努力も必要。
- ・利水と治水について、解りやすい内容、またダム再生ビジョンなど、今後災害に対する国交省の取り組みなど知ることが出来た。
- ・今、直面している問題等知ることが出来た為。
- ・山奥の土砂が崩れやすくなっていることがよく分かった。
- ・家の近くの田畑の水も物部川の水と実感出来た。

- ・土砂の有効活用は難しそうだった。粘土は焼き物にならない？
- ・顔ぶれが素晴らしいし、内容も濃い。
- ・コーディネーターの説明がやや多いかも。パネラーの発言をもっと聞きたかった。

理由②

- ・パネリストの人选が素晴らしく、明確な答弁は勉強になり、物部川について認識が深まった。
- ・ちょっと分散的になったのでは。基調講演という関係での議論を。
- ・国交省所長の話で他県の治水対策例は、解決策として参考になった。
- ・国の取り組みに期待したい。
- ・自分に出来ることを考えたい。
- ・各団体が物部川の濁りに対する影響、対策を発表し、どのような取り組みをしているのかは分かったので、今後、個々の取り組みを共有し、連携して行ってほしいなと感じた。
- ・身近なテーマであり、興味深く参加することが出来ました。
- ・各パネラーの話の中で少し専門的な言葉があり、少し理解しにくい時がありました。
- ・物部川のダムの問題、利水の問題について今後関係団体が、一同に協議出来る場と課題の重要性の優先順位を検討するべき。
- ・国の話を直接聞くことはめったにないので新鮮でした。
- ・関係者の本音が聞けて、参加者の理解が深まったのではないかな。
- ・物部川の濁り問題は、簡単に解決出来ないことを再認識させられました。
- ・問題点が理解出来ました。
- ・質問が的確でよかった。

理由③

- ・内容はよかったが、時間が長かった。
- ・色んな問題があるので仕方なかかもしれないが、ポイント、テーマが色々で分かりづらかった。
- ・山が一番の問題。
- ・テーマの「長期濁水」対策が少なかったのでは。
- ・皆さんの準備が素晴らしかった。

理由④

- ・パネリストの話がTempoが遅くてかったるい。話に勢いや熱気が欲しい。まるで物部川の水の流れと同じだ。もっと元気を出せ。時間が足りない。継続は力なり。しかし一点集中すべし。人には色々成し遂げることが出来ない。一年一年的を絞って、出来ることを一つ一つ成すべし。フロシキの広げすぎだと思う。
- ・物部川の濁りの協議を聞きたかった。
- ・論点が不明瞭、工夫が必要。従って、具体的な課題対策への議論に乗っていないのでは。
- ・ダムの放流量や取水量、水利権等あまりためになりませんでした。濁水に関してどのように取り組むか、解決法等について議論してほしかった。

理由⑤

- ・会が下手。ダメ。せっかくのパネラーを活かせてないし、かわいそう。
- ・水利用に関する所は基礎知識がなく、理解できないところが多くついていけない。
- ・1級河川の管理運用、その他利害関係者の意見、森林の保水力の低下等、周知事項のみが大半であり残念に思った。19年度の豪雨による永瀬ダム等の放水状況を踏まえ、同種状況が多発すると思われるが、どうなるだろうかという事等、具体的な内容が欲しかった。

理由⑥

- ・根本的に問題解決するのは大変だけど、これからも努力していくことが大事ですね。
- ・自治体の力がこれからは特に必要となることを理解しました。
- ・濁水についてもう少し突っ込んだ話が欲しかった。

4.フォーラムの時間はいかがでしたか？

①長い	②ちょうど	③短い	未記入				
16	55	2	4				

5.今後、物部川について学びたいテーマ(分野)がありましたらご記入ください。

①総合(物部川の現状、山川海のつながり等)	32
②山(山・森林の役割、シカの食害等)	27
③川(水質・生き物調査、川遊び体験等)	19
④水利用(水と私たちの生活、農業利用、発電利用等)	24
⑤防災(ダム・堤防の役割、防災学習等)	29
⑥廃棄物(汚水処理、川ゴミについて等)	25
⑦その他(具体的に)	2
すべてについて学べる機会があれば参加したい。 地球温暖化、海洋汚染の問題 流域の民族文化、歴史の資産	
未記入	5

6.物部川フォーラムや物部川についてのご意見、ご感想など、ご自由にご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> ・あきらめずに続けてやってほしい。 ・具体的な取り組み等についての討議を聞きたかった。(濁水対策) ・民間の方々がおはじめたこの物部川に関する取り組みが官公を支え、これからの将来の3市の発展や自然の保全につながっていけるよう市民としての協力はもちろんですが、継続して取り組んでほしいです。 ・今後ともこの種の取り組みを希望する。 ・何で、県がないのか？県も含めてフォーラムを。治水は命。利水はマネー、お金。 ・森林整備について、行政が出来ることを本気でやってほしい。 ・これからも課題の認識、共有に、様々な機会を通じて努めていきたい。 ・昭和の時代に、香長平野の利用や治水のために改造された物部川を令和の時代(産業と人口の変化)に再考し、再改良が必要だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・とにかく粘り強く続け、清らかな流れを取り戻そうではありませんか。 ・継続して下さい。 ・濁水、土砂のデメリットが多かった。メリット利用を多くすることで前向き対策になったのでは？進行の問題か？ ・山の問題が一番。これをどうするか。県、市だけでなく、国がもっと積極的に関わり、国土の保全から水を考える必要がある。国がもっと力をいれるべきだと思う。 ・色々勉強させていただいていますが、「個人でできることはあるのか、何ができるのか」が分からないでいます。 ・ともに次世代に豊かな自然をバトンとして渡せるよう地道な行動を続けましょう。 ・大変参考になったので続けていただきたい。時間は守っていただきたい。 ・神田所長の話がすごく印象的でした。 ・一部にはダム不要論もあるが、漁協と農業者(改良区)、行政との協議、議論を通じて、今後の物部川の在り方を真剣に検討していく必要がある。 ・継続することが大切だと思います。 ・準備等、大変だったと思いますが、ぜひ続けていただきたいと思います。 ・パネラーに、農業や漁協の関係者を含めたほうがいいのではないのでしょうか？テーマにもよりますが。 ・大変参考になりました。 ・活動の継続に参加します。

- ・物部川の特性を明らかにし、どのような物部川にするのか、価値観、未来像を共有する議論が必要ではないでしょうか？災害では、高知市にも大きく影響する点も重要と思う。
- ・山について、雨に強く元気な山にするためにできることを知りたい。
- ・関係間の課題認識の共有は進んだのではないか。まだ、同床異夢の感もあるが、これから共通利害を求めて進めてほしい。
- ・最後のゴミのことは、プラスチックが安全に再利用や焼却とか、CO2が回収できる施設が安くできるかが大事だと思います。北陸のアルハイテックの取り組みが高知でも出来たらいいと思います。土砂もうまく利用できるようにしてほしいです。
- ・マイクロプラスチック→「プラ減」が急務。
- ・里、川、海については勉強になった。今回山についてはあまり触れていなかった為、山(物部川)について知りたいと思う。
- ・永瀬ダムをメインテーマに種々の問題点を議論していただきたい。
- ・長いスパンで共有していく市長の活を感じました。土佐の海を豊かにするための努力を惜しまないようお願い致します。
- ・鹿肉カレーがおいしかったです。
- ・ぜひ、長く続けてほしい。次世代に向けて今日の内容を話せる人が増えてほしい。
- ・物部川にもたらず、産業、経済効果について数字で表してほしい。例えば鮎の産業(天然鮎)取扱量と金額等。どろめの取り扱い金額など。
- ・色々な問題へのテクニックが聞けて、将来への希望が見えてきた気がします。
- ・今回のフォーラムの持ち方はとても良かったと思います。物部川を取り巻く多様で解決困難な課題をとて心配していますが、今回のような立場の違いを相互に理解しあい、それを乗り越えて解決への道を作ろうとする地道で誠実な機会を活かし、具体的な対策を進めねばならないと思いました。行政の早い動きが必要と思いました。